

第7節：労働者の満足度を向上させる施策

問15では、「今後、あなた自身がいまの会社で自分が能力を発揮するために、会社に対してはどのようなことを望むのか」を聞いている（○は3つまで）。その結果は、図3-1-57のように、多い順に「適性にあった業務の割り振りや人員配置をしてほしい」（47.3%）、「賃金や昇進に関して、能力に応じた処遇をしてほしい」（34.2%）、「賃金や昇進に関して、成果に応じた処遇をしてほしい」（26.1%）、「賃金を向上させてほしい」（21.2%）、「上司に対する管理者教育をもっと行ってほしい」（19.7%）というものであった。

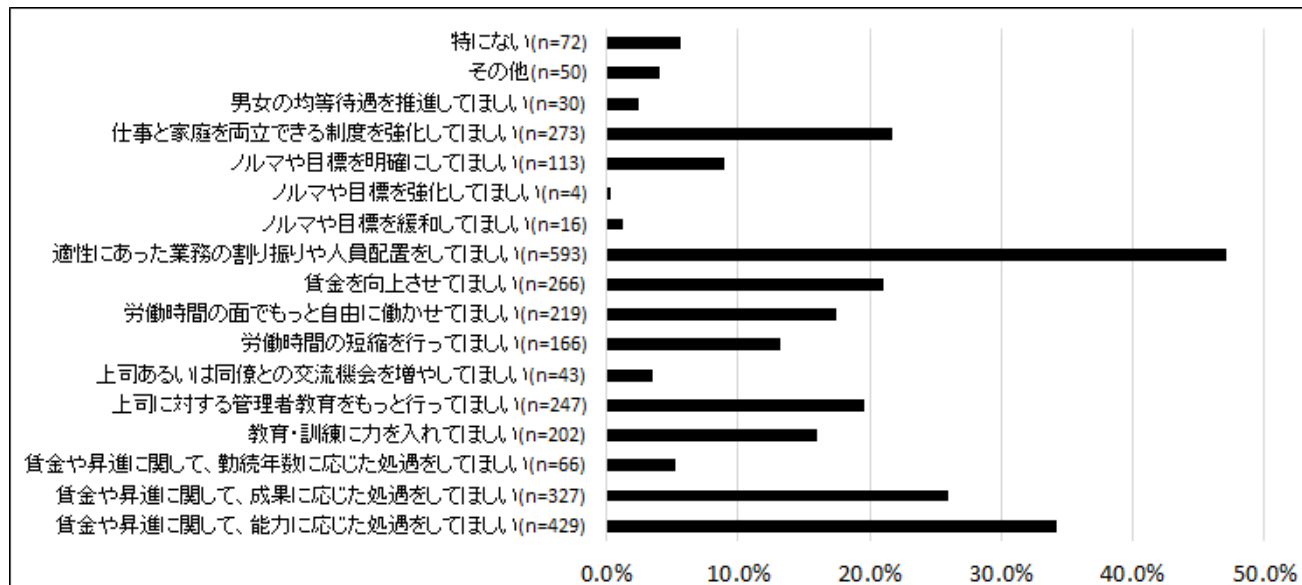


図3-1-57：自分が能力を発揮するために、会社に求めること

次の問16では、「今後、いまの会社において（自分以外の）労働者が能力を発揮するために、会社はどのようなことをしたほうがよいか」を聞いている（○は3つまで）。その結果は、図3-1-58のように、多い順に「適性にあった業務の割り振りや人員配置をしたほうがよい」（50.7%）、「賃金や昇進に関して、能力に応じた処遇をしたほうがよい」（35.4%）、「賃金や昇進に関して、成果に応じた処遇をしたほうがよい」（29.7%）、「上司に対する管理者教育をもっと行ったほうがよい」（26.3%）、「教育・訓練に力を入れたほうがよい」（22.3%）、「仕事と家庭を両立できる制度を強化したほうがよい」（19.0%）であった。

（29.7%）、「上司に対する管理者教育をもっと行ったほうがよい」（26.3%）、「教育・訓練に力を入れたほうがよい」（22.3%）、「仕事と家庭を両立できる制度を強化したほうがよい」（19.0%）であった。

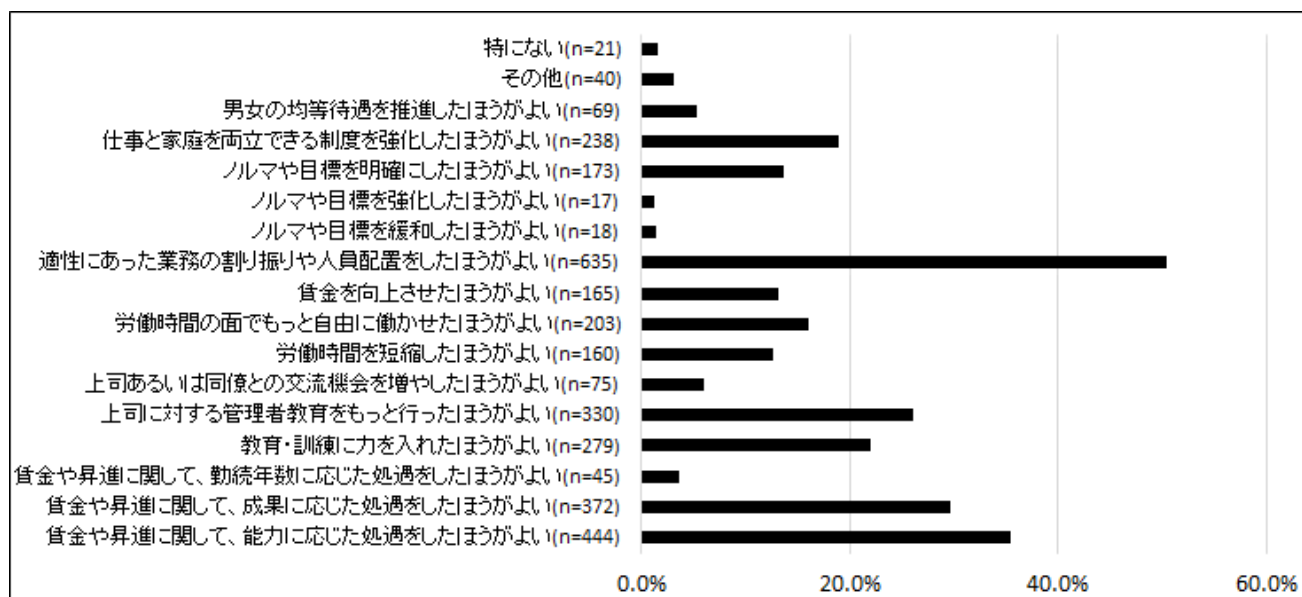


図3-1-58：自分以外の労働者が能力を発揮するために、会社がしたほうがよいこと